



## 母の日・父の日 由来は？

和文化研究家 三浦康子

親に感謝をする日は世界各地にあります。その由来や日にちはさまざまです。日本では5月の第2日曜日が「母の日」、6月の第3日曜日が「父の日」で、いずれもアメリカに由来があります。

「母の日」は、アンナ・ジャービスという女性が、母の命日（1905年5月9日）に近い5月の第2日曜日に母を追悼する会を開き、白いカーネーションを配ったことがきっかけです。

アンナの母は、11人の子のうち7人を亡くした経験から、子どもの高い死亡率の原因となっている劣悪な衛生・医療環境を改善するため、「Mother's Day Work Clubs」を組織して力を尽くしました。南北戦争時にも平和を願って多くの兵士や家族を救うなど、母親として社会的に大変意義のある活動をしていました。

そんな母の背中をみて育ったアンナが、すべての母親を<sup>たた</sup>称えるために「母の日」の祝日化を提唱し、1914年にそれを実現させたのです。

ところが、こうした理念が政治的、商業的思惑によって母にプレゼントを贈る日にすり替わり、カーネーションが驚くほど高額で売られ、年々派手になっていったため、本質を歪められたと感じたアンナは、「母の日」差し止めの訴訟を起こしました。しかし、結果は敗訴。晩年アンナは、「自分が創ったこの祝日の商業化を自分の手で止めることで、母の恩に報いたかった」と語ったそうです。

一方の「父の日」は、ソノラ・スマート・ドッドという女性が、南北戦争後、男手ひとつで6人の子を育ててくれた父への感謝の気持ちを表すために、「母の日」があるなら「父の日」もあるべきだと活動し、1972年に祝日となりました。

日本には、大正時代に「母の日」が伝えられましたが普及には至らず、昭和20年代にアメリカに倣<sup>なま</sup>って広がっていきました。「父の日」は、1981年の「日本ファザーズ・デイ委員会」の設立以降認知度が高まり、親しまれるようになりました。

現在、すっかり定着している両日ですが、由来を知ること、この日のとらえ方がより深くなるように思います。



©PIXTA

令和元年  
2019  
No.627

5



法皇上人  
浄土宗  
開宗850年  
2024



Jodo Shu  
Buddhist Denomination  
<https://jodo.or.jp/>

発行＝浄土宗 / 編集＝浄土宗出版  
東京都港区芝公園4-7-4 明照会館3階  
TEL 03(3436)3700  
購読お申し込みは12面をご覧ください

浄土宗  
Honen Buddhism  
新聞

